## (1) 事業名称等

【事業名称】 ヘリテージマネージャー・ホームドクター活動 ~阪神北地区の国登録有形文化財建造物を事例として~

【実施団体】特定非営利活動法人 阪神文化財建造物研究会【事業経費】1,263,059円

## 登録有形文化財 10,000件超 !

**発展→登録→その後????** 

**永一丛**》夕夕一清颜



(建物を町医者として診断する)

## (2) 事業の目的

#### 民間の『登録有形文化財』消失の危惧

- 所有者の世代交代 建物の老朽化
- ・維持管理が難しい・維持管理の法的拘束力がない



# かかりつけ医のような身近な存在になる

事例: 阪神北地区の国登録有形文化財建造物(11戸)

伊丹市: 0戸 三田市 2戸:川西市4戸:猪名川町2戸

正司家住宅

仁部家住宅





静思館



## (3) 事業活動の内容

建物を町医者として診断し、マニュアル作成・継承、登録有形文化財伴の会発足準備

## ヘリテージマネージャー・ホームドクター活動

- ①アポイント・訪問 ····→ 行政の協力、支援
- ②アンケート作成 ・・・・→ 意識調査、分析
- ③カルテ作成・渡し・・・・・・→記録、情報共有(ひょうご住宅100選参照)
- ④マニュアル作成・・・・・→マニュアル他へ継承・伴の会準備・発足

#### 表紙

- ①概要シート
- ②外観写真シート
- ③調査シート
- 4調査シート(写真)
- ⑤相談シート(写真)
- ⑥調査・対応シート

#### 4市1町説明会



#### 調査





カルテ

#### (4)事業の成果 (建物を町医者として診断する)

- 2回目のカルテ調査で⇒改修工事の相談受
- ●行政の信頼➡事業の紹介・依頼
- ●その他改善・効果・継続➡マニュアル作成・継続

## 所有者×ホームドクター×行政・・・・ 協同トライアングルが不可欠

#### 勉強•作業会



## アンケート結果

建物への想い ・・・・・・・『文化財』を誇りに思う:90%、建物を大事にしたい:全員記入者内訳

・維持管理について ・・・・・・費用がかかる、専門家・行政への期待大

・相談相手について ・・・・・・ 建築士:25% 業者:50%

・ホームドクターについて・・・・ 必要・期待:90%**(期待へのやりがいが湧く)** 

・保存・活用について ···· 現在利用中: 76% 活用に前向き: 77% その他: 23%

将来に不安:24%(後継者・老朽化・維持経費等)活用改造了承:50% 現状のまま:50%

・所有者の会について・・・・賛成:80% 興味有る:50%(登録文化財伴の会発足準備の足掛かりに)

・困っている事 ・・・・・・・・ 住環境、相談先、後継者、修理経費、税制面

・・・・・・・・・修理、抹消、アドバイス、登録後活性化、修理の助成・・・・ ▪その他

男性:13

女性:3

不明:1

年齡:50~90代

## (5) 事業実施後の課題

• このホームドクター活動は継続する事が大切であるが、その継続 に対しての仕組みが問われる

### 口カルテでは

- ・複数棟の場合の選択基準と記録の省力化
- ・プライバシー、個人情報保護の問題

#### ロアンケートでは

・所有者(管理者)の表現区分と対応(個人、民間法人、学校法人、行政など)

## ロアポイント・訪問では

- ・登録又は保存に対する不信感が残存
- ・個人・法人共に潜在する諸事情

## 課題の追及









## (6) 今後の展開

# (仮称) 登録文化財「伴ともの会」 (同好会発足28年予定)

「28年度は文化遺産を活かした地域活性化事業」 サポーター育成で提案中!

- 2回目以上のカルテ調査で→改修の相談受、増
- 行政の信頼→事業の紹介・依頼受け
- その他改善・効果・継続→

マニュアル作成を生かして発信・展開